



## ◆巻頭言

今から6600万年前、巨大隕石の衝突や地殻変動などによって起きた気候変動によって、恐竜など多くの生物が絶滅したといわれています。それまでの地質学上の区分である「中生代」から、現在は「新生代」の「第四紀」のうち「完新世」という時代に続いており、その当時の様々な痕跡が地球上のいたるところで発見されています。少し前のオゾン層の破壊が言われ始めた頃から、人類の爪痕が残る新たな地質年代として「人新世(じんしんせい、またはひとしんせい)」が提唱されています。人新世を新たな地質年代とすることが妥当か、また始まりはいつ頃なのか、意見が分かれています。始まりについては、20世紀半ばの1950年頃を境に始まったとする意見が有力なようです。その根拠として、その頃から人口増加や人間活動に伴う大量生産・大量消費により、様々な地球環境の負の方向への劇的な変化を世界規模で示しており、驚くべきことに同時期に相次いだ核実験由来の放射性物質が世界中で見つかっているということも、有力な指標とされています。つまりここ数十年の人間活動の影響が、6600万年前にもたらされた気候変動に匹敵するほどの変化として位置づけられるという見方があることに、今我々はとてつもない時代の真っ只中にいることを実感させられます。

更に、気候変動や生物多様性の損失については、すでに回復可能な限界点を超過しており、その結果、地球環境が自然な振る舞いから大きく外れ、数千年、数万年、あるいはそれ以上の長期にわたって影響が残ることになる、と指摘する科学者もいるようです。このような「人新世」の制定についての議論をめぐって、我々人類はこれらの意見を人間社会への警告と受け止め、持続可能な未来を今後も残していくために、節度ある消費行動が求められていることは間違いありません。瀬上での活動を通して、ささやかながらも身近なところから何ができるか、無い知恵を絞っていけたらと思います。

尾崎 努

## 次回の予定 ◆令和5年9月・10月の活動予定

**悪天候時(又は緊急事態等)の作業中止連絡は am7時までにメール致します。**

**無理のない作業を心掛ける事と、安全を第一にした活動を行きましょう。**

1) 8月26日(土) **8時半**～12時[臨時作業] ・集合場所 池の下倉庫

**※26日に作業ができない場合は、翌日の27日(日)に行います。**

◇作業目的: 愛護会から委託された散策路の保守、整備(草刈り)

・作業場所: 池の上広場付近と中尾根散策路

・作業内容: 散策路の草刈り

・持ち物 常備具(手ノコ・ナタ・カマ) 飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、救急箱、刈払機

2) 9月10日(日) **9時半**～14時半[定例作業] ・集合場所 池の下倉庫

◇作業目的: 桜の里山を目指した保全作業

・作業場所: 道場丸エリア

・作業内容: 植樹地の草刈りとササ刈り、植樹木の手入れ

・持ち物 常備具(手ノコ・手ガマ・剪定バサミ、ナタ)お弁当、飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、ブルーシート、救急箱、刈払機

3) 9月24日(日) **9時半**～14時半[定例作業] ・集合場所 池の下倉庫

◇作業目的:桜の里山を目指した保全作業

- ・作業場所:いっしんどうエリア(港南台側斜面地)と中尾根苗畑
- ・作業内容:草刈りと林床整理
- ・持ち物 常備具(手ノコ・手ガマ・剪定バサミ、ナタ)お弁当、飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、ブルーシート、救急箱、チェーンソー、刈払機

4) 10月8日(日)9時半~14時半〔定例作業〕・集合場所 池の下広場

◇作業目的:桜の里山と景観保全型広葉樹林を目指した保全作業

- ・作業場所:いっしんどうエリア(氷取沢エリア)
- ・作業内容:草刈りと林床整理、谷戸の子供教室の準備
- ・持ち物 常備具(手ノコ・手ガマ・剪定バサミ・ナタ)お弁当、飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、ブルーシート、救急箱、チェーンソー、刈払機

5) 10月14日(土)8時半~12時〔臨時作業〕・集合場所 池の下広場

※14日に作業ができない場合は、翌日の15日(日)に行います。

◇作業目的:愛護会から委託された散策路の保守、整備(草刈り)

- ・作業場所:池の上広場付近と中尾根散策路
- ・作業内容:散策路の草刈り
- ・持ち物 常備具(手ノコ・ナタ・カマ)飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、救急箱、刈払機

6) 10月22日(日)9時~12時〔定例作業〕・集合場所 池の下広場

◇作業目的:谷戸の子供教室の開催(変更の可能性あり、後日再連絡)

- ・作業場所:いっしんどうエリア(氷取沢エリア)
- ・作業内容:ノコギリ実習(玉切り)、伐採実習、コースター作り
- ・持ち物 常備具(手ノコ・手ガマ・ナタ)お弁当、飲料水、防虫スプレー

【持参器具】作業旗、ブルーシート、救急箱

令和5年9月10月の原稿に関し、上記活動報告は小宅氏、リレートークは牧内氏です。

原稿の締め切りは令和5年10月25日(水)、伊藤氏までよろしくお願いいたします。

作業を欠席される方は、小宅部会長まで、メール(oyake.family@train.ocn.ne.jp)又は電話(090-6650-3855)ご連絡ください。

## 【樹林地部会 活動日誌】

(1) 令和5年7月9日(日)晴れ いっしんどうエリア(尾根道側)

・参加者:長谷川 佐谷 尾崎 石渡 三島 渡部 小松 徳井 伊藤 竹内 小宅 の11名  
+ボラ塾生6名+事務局1名 計18名

・活動目的:いっしんどうエリア尾根道側の草刈り ボラ塾生の体験講座

・活動場所:いっしんどう広場(尾根道側斜面地)

・活動内容:下草刈り、ボラ塾生が横一列に並び下から上に向かって草刈り実施、

部員はその後ろで補助及び刈り取り後の整備、渡部氏よりカマの使用方の指導

●10時より作業開始、オオシマザクラ周辺のヒサカキ剪定(選抜5名)、2度の休憩を挟み

●11時半 気温上昇と小雨により部会としても終了。

塾生の一人がハチに刺され、ポイズンリムーバーで吸引を行う、その後特に症状はなし。

●打合せ事項:蜂さされの対処、ポイズンリムーバーの使い方、消毒の仕方の覚え書きを確認。  
苗畑地横の竹材使い方については、次回改めて会員間で確認する。



作業前の打合せ



植栽剪定前の打合せ



植栽剪定後



斜面草刈



斜面草刈



斜面草刈後

(2) 令和5年7月23日(日)晴れ いっしんどうエリア(港南台側斜面地)

・参加者：渡部 渡邊 三島 尾崎 佐谷 小宅 徳井 牧内 浅見 長谷川 伊藤 計11名

・活動場所：①中尾根入口 ②いっしんどう広場

・活動内容：①苗畑周辺の刈払い機を使った除草、②オオシマザクラ周辺 ヒサカキ剪定 雑木の処理

・各場所に分かれて除草、剪定作業を行う。刈払い機、剪定する際のポイントを渡邊氏、渡部氏、長谷川氏よりアドバイスあり、実地する。・ヒサカキの剪定について：1. 高さを揃える 2. 細い幹は残して、太い幹を切る。3. 細かい枝の切り口は斜めに切ると尖っていると危ないので、しっかりと見てまっすぐ切る等、通行人については、「活動中」の標識を用意し、適宜声かけをして、安全に留意して活動を行う。・当日は気温の上昇、無風に近い状態だったので、30分に一度は必ず水分補給と活動休止を徹底した。・寄合後、道場丸除草活動場所の現状確認、クマガイソウ周辺の囲みをする。

チェーンソー、刈払い機、各自のノコギリ等使用した道具類の片付けを行い、解散。

●打合せ事項：①区役所から次年度自然体験教室要請の際の受注金額についての確認、②竹材の使い道、本部より予定されている次年度予算のチップ購入についての再度確認。③次回8月6日(日)臨時作業 散策路の除草について 再度確認。

(3) 令和5年8月6日(日) 災害級の熱暑が続き、安全管理者、役員の判断で作業は中止。

作業日を8月26日(土)延期予定 予備日8月27日(日)、9月3日(日)とする。



植栽の剪定



植栽の剪定



不要木の伐採



苗畑周辺刈払い除草 ヒサカキ剪定作業 道場丸クマガイソウ生育区域 活動終了 道具の片づけ

(4)令和5年8月19日(土) 天気 晴れ 救急法講習および納涼会

●救急法講習 9時～12時 栄消防署 3階会議室

・参加者 浅見 枝村 尾崎 小宅 小嶋 佐谷 竹内 徳井 野沢 牧内 渡部 +ボラ塾生6名  
事務局1名 計18名

・活動内容 樹林地部会会員、ボラ塾生希望者を加えて受講。成人の心肺蘇生法、AED の使用法、  
気道異物除去法、止血法、熱中症、脳卒中、予防、救急車、消防車の出動態勢など、実技及び  
テキストを参考に、質疑応答も交えて3時間受講する。



「よこはま防災 e-パーク」  
検索紹介

救急車がくるまでにすべき  
必需！ 応急手当実技

119連絡・AED 確保の連携

●納涼会 17時～19時30分 大船「海福」

・参加者:浅見 枝村 尾崎 小松 小宅 佐谷 竹内 徳井 三島 計9名

・活動内容: コロナ禍5類移行により、希望者を募って暑気払い、日ごろの活動の労をねぎらう。

・打合せ事項: 次回の予定8月26日(土)臨時作業 散策路除草について 再度お知らせする。

リレートーク

私のお友達

長谷川光子

知り合って 13 年になる、でも、一度しか会った事がない。あの頃は可愛らしいはにかみ屋の小学二年生だった。御家族で旅行の途中お会いしたが、話はほとんどしなかった。以後、手紙の交換が続いている。岐阜の白線流しで有名な高校卒業後、京都の大学に進み4年生。就職活動が大変な様子。小学5年生の頃から中学、高校と生徒会長を勤め、英語弁論大会で優勝、ごほうびにアメリカ旅行に行き、ちょっと私の近くでは、あまり聞かない娘さん。知り合ったのは、風船に付いて飛んできた手紙から。泉区役所の近くを通りかかったら、ゴム風船の切れ端に何か付いているので手に取って見ると手紙が、こんな所で拾いましたよと知らせたのが始まりでずっと続いている。次の年もほぼ同じ所で拾ったのも岐阜からの物。男の子の名前と学校名が付いていたので校長先生宛に拾った事を知らせたが……。孫の様なお嬢さんの成長が楽しみで続いているが迷惑ではと思ったりもする。何時まで続けられるか、もう暫く手紙だけの友達で居てもらえたら有りがたく嬉しい。

◆編集後記 今年の夏は命に係わる危険な暑さの日が連続している。出歩かず、クーラーの効いた部屋で水分を採りながら脳トレで、知力の低下を食い止めようとしている日々。 押木満雅